

令和 3 年 6 月 10 日現在

機関番号：12602

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H03276

研究課題名(和文) 貧困はどのように子どもの健康を蝕むのか？媒介要因の解明と子どもの貧困対策の開発

研究課題名(英文) How poverty deteriorate child health? Development of strategy to address child poverty based on mediation analysis

研究代表者

藤原 武男 (Fujiwara, Takeo)

東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授

研究者番号：80510213

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,800,000円

研究成果の概要(和文)：貧困下において、子どもにおける留守番と問題行動、親の帰宅時間と問題行動、不規則な睡眠習慣と非認知スキルとして重要なレジリエンス、貧困とソーシャルキャピタルと子どもの問題行動、ソーシャルキャピタルと麻疹のワクチン摂取率、野菜から摂取することの肥満予防効果、親の調理と健康、貧困と養育態度と虫歯、受動喫煙と脂質代謝異常の関連などを明らかにし、そのいくつかは実際に健康政策として実施された。原著論文は合計で40本出版することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究成果によって、貧困下にあっても、野菜から摂取するなどの子ども自身で取りうる行動によって健康への悪影響を低減できることが示されたことから、貧困による子どもの不健康、そしてさらに成人後の貧困という悪循環を断ち切るための政策提言につながった。そして実際に学校において実行可能な健康政策として落とし込まれ実施に至った。今後その効果についての検証が望まれるところである。

研究成果の概要(英文)：Current study found that, under poverty, children left home alone showed more behavior problems, late parental time at home was also risk for behavior problems, irregular sleep time was also associated with resilience, social capital showed protective effect on behavior problems and measles vaccination, eating vegetable at first of the meal and home cooking showed protective effect on obesity, positive parenting behavior was protective for caries, and passive smoking showed harmful effect on dyslipidemia. Some of our findings were used as health program in some school. We could publish 40 original articles based on this study.

研究分野：公衆衛生学、疫学(社会疫学、ライフコース疫学)

キーワード：子どもの貧困 生活習慣病 メンタルヘルス ストレス レジリエンス

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

日本における子どもの貧困は 1985 年の 10.9%から 2012 年の 16.3%と増加傾向にあり、世界保健機関 (WHO, 2008) が指摘する通り、貧困状態にある子どもの健康、学力、発達への影響が懸念されている。しかし、その実態および媒介要因は明らかとはいえない。それ故に、子ども期の貧困 不健康・学力低下 成人期の貧困、という連鎖を断ち切れずにいる。

貧困の対策には長い時間と国家的な経済政策によらなければならないが、時間がかかり、容易に解決するものではない。しかし、社会格差と子どもの健康を仲介する要因がわかれば、その関連を絶つ対策を打ち出すことができる。そして実際に、足立区から要請されている。そこで、子どもの貧困と健康に関する媒介要因を明らかにし、その要因にターゲットにした介入政策が必要である。

これらの媒介要因として親の喫煙等の有害物質への曝露、微量栄養素の不足、遺伝性、虐待的養育などが考えられる。貧困の連鎖を断ち切るためには、これらのうち、修正可能な媒介要因を明らかにし、その対策を実施することが必要である。なぜなら、遺伝性の要因や虐待的養育、親の喫煙等の有害物質曝露については修正が困難で、対策の仕様がでない。一方、栄養状態については保育園や幼稚園、学校での給食等で介入可能であるし、非認知能力についても教育的な介入が可能である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、その悉皆調査を前向きに追跡し健康状態を評価し、修正可能な要因である栄養状態および非認知能力などが媒介しているという仮説を検証することで、現在足立区で実施している子どもの貧困対策の効果評価を行いながら、根拠に基づく効果的な子どもの貧困対策プログラムを開発することである。

3. 研究の方法

平成 27 年度から令和 2 年度まで足立区との共同調査として実施している小学校 1 年生の全数を対象とした「子どもの健康・生活実態調査」を継続して縦断的に小 2、小 4、小 6 まで追跡調査した。また一部のサンプルを追跡し、詳細な食事調査、非認知能力を測る心理テスト、バイオマーカーとして血圧・心拍変動 (自律神経バランスを測定) 採血による糖尿病等の評価を行った。具体的には、足立区の全小学校において、区政および教育委員会との共同調査として、小 2 への質問紙による悉皆調査を行った (N=5300)。質問紙の配布・回収は学校ベースで実施した。質問紙には、貧困の実態 (世帯年収、生活保護や児童扶養手当等の補助、夫婦の教育歴、婚姻状況、外国籍等、経済的理由による必需品の所有困難経験の有無、さらにライフラインの支払い困難経験の有無、関係性の貧困としての社会的ネットワークや社会的サポート状態)、健康指標 (問題行動 (Strength and Difficulty Questionnaire (SDQ) で把握)、ワクチン接種状況、事故、入院歴、喘息既往等)、食事の摂取状況 (朝食の内容、夕食における孤食、野菜摂取状況)、非認知能力 (レジリエンスを Devereux Student Strengths Assessment (DESSA) により評価) を調査した。同時に、親の健康状態 (BMI、喫煙・飲酒、既往歴等) についても調査した。この調査を小 4、小 6 においても縦断的に実施した。さらに、比較のために、小 2 調査を実施した年に同時に小 4・小 6・中 2 においても調査も実施した。そしてその学年を追跡した。中 2 については、学校で行われる採血検査とデータをリンクさせた。また、足立区の子どもの貧困対策の効果検証をするために、学年を固定して、小 1 および中 2 において、悉皆調査を実施し、同学年における経年的な変化を検証した。さらに、中 2 以降においても高 2 の時点で同意を得た上で追跡調査を実施し、様々な心理テスト、口腔内検査、採血、脳 MRI 検査等を実施した。

4. 研究成果

これまでの足立区における「子どもの健康・生活実態調査」の解析結果は全て足立区と共有し、その成果は足立区のホームページに掲載されている (<https://www.city.adachi.tokyo.jp/kokoro/fukushi-kenko/kenko/kodomo-kenko-chosa.html>)。そのいくつかの例を言えば、貧困下において、子どもにおける留守番と問題行動、親の帰宅時間と問題行動、不規則な睡眠習慣と非認知スキルとして重要なレジリエンス、貧困とソーシャルキャピタルと子どもの問題行動、ソーシャルキャピタルと麻疹のワクチン摂取率、野

菜から摂取することの肥満予防効果、親の調理と健康、貧困と養育態度と虫歯、受動喫煙と脂質代謝異常の関連などを明らかにした。

そして、野菜から食べる、規則正しく寝る、朝食を食べる、1日30分以上の運動をする、を実施するための自己記入式パッケージを開発し、実際に健康プログラムとして足立区の学校において実施された。さらに、その後、歯磨きの登校しづり予防効果が判明し、歯磨き習慣を加えた。原著論文は合計で40本出版することができた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計34件（うち査読付論文 34件／うち国際共著 3件／うちオープンアクセス 24件）

1. 著者名 Fukuya Yoshifumi、Fujiwara Takeo、Isumi Aya、Doi Satomi、Ochi Manami	4. 巻 9
2. 論文標題 Association Between Parenting and School Refusal Among Elementary School Children in Japan: Results From A-CHILD Longitudinal Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fped.2021.640780	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Matsuyama Yusuke、Subramanian S. V.、Fujiwara Takeo	4. 巻 24
2. 論文標題 Relative deprivation and educational aspirations of 15-year-old adolescents in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Social Psychology of Education	6. 最初と最後の頁 573～588
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s11218-021-09619-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Tani Yukako、Doi Satomi、Isumi Aya、Fujiwara Takeo	4. 巻 -
2. 論文標題 Association of home cooking with caregiver?child interaction and child mental health: Results from the A-CHILD study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Public Health Nutrition	6. 最初と最後の頁 1～31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1017/S1368980021001075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Koyama Yuna、Fujiwara Takeo、Isumi Aya、Doi Satomi、Ochi Manami	4. 巻 42
2. 論文標題 The impact of public assistance on child mental health in Japan: results from A-CHILD study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Public Health Policy	6. 最初と最後の頁 98～112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1057/s41271-020-00254-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyamura Keitaro, Nawa Nobutoshi, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 -
2. 論文標題 The Association of Passive Smoking and Dyslipidemia Among Adolescence in Japan: Results From A-CHILD Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/clinem/dgab094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funakoshi Yu, Xuan Ziming, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 56
2. 論文標題 The association of community and individual parental social capital with behavior problems among children in Japan: results from A-CHILD longitudinal study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology	6. 最初と最後の頁 119 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00127-020-01866-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Doi Satomi, Isumi Aya, Fujiwara Takeo	4. 巻 11
2. 論文標題 Association Between Serum Lipid Levels, Resilience, and Self-Esteem in Japanese Adolescents: Results From A-CHILD Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.587164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko, Doi Satomi, Fujiwara Takeo	4. 巻 31
2. 論文標題 Adachi Child Health Impact of Living Difficulty (A-CHILD) Study: Research Protocol and Profiles of Participants	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 77 ~ 89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama Yusuke, Isumi Aya, Doi Satomi, Fujiwara Takeo	4. 巻 48
2. 論文標題 Poor parenting behaviours and dental caries experience in 6 To 7 year old children	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Community Dentistry and Oral Epidemiology	6. 最初と最後の頁 493 ~ 500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cdoe.12561	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tani Yukako, Fujiwara Takeo, Isumi Aya, Doi Satomi	4. 巻 12
2. 論文標題 Home Cooking Is Related to Potential Reduction in Cardiovascular Disease Risk among Adolescents: Results from the A-CHILD Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 3845 ~ 3845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu12123845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Takeo, Doi Satomi, Isumi Aya, Ochi Manami	4. 巻 11
2. 論文標題 Association of Existence of Third Places and Role Model on Suicide Risk Among Adolescent in Japan: Results From A-CHILD Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2020.529818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuya Yoshifumi, Matsuyama Yusuke, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 17
2. 論文標題 Toothbrushing and School Refusal in Elementary School: A Longitudinal Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 7505 ~ 7505
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17207505	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama Yusuke, Isumi Aya, Doi Satomi, Fujiwara Takeo	4. 巻 42(4)
2. 論文標題 Longitudinal Analysis of Child Resilience Link to Dental Caries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatric Dentistry Journal	6. 最初と最後の頁 308 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yang Jiaxi, Tani Yukako, Tobias Deirdre K., Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 12
2. 論文標題 Eating Vegetables First at Start of Meal and Food Intake among Preschool Children in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 1762 ~ 1762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu12061762	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinsugi Chisa, Tani Yukako, Kurotani Kayo, Takimoto Hidemi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 12
2. 論文標題 Change in Growth and Diet Quality Among Preschool Children in Tokyo, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 1290 ~ 1290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu12051290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上 裕子、松山 祐輔、伊角 彩、土井 理美、越智 真奈美、藤原 武男	4. 巻 67
2. 論文標題 子どものう蝕に対する保護者の消極的受診態度に関する要因の探索的研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本公衆衛生雑誌	6. 最初と最後の頁 283 ~ 294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11236/jph.67.4_283	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko, Doi Satomi, Fujiwara Takeo	4. 巻 31
2. 論文標題 Adachi Child Health Impact of Living Difficulty (A-CHILD) Study: Research Protocol and Profiles of Participants	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 77～89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kano Mayuko, Tani Yukako, Ochi Manami, Sudo Noriko, Fujiwara Takeo	4. 巻 7
2. 論文標題 Association Between Caregiver's Perception of "Good" Dietary Habits and Food Group Intake Among Preschool Children in Tokyo, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 554
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2019.00554	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi Satomi, Fujiwara Takeo, Isumi Aya, Ochi Manami	4. 巻 10
2. 論文標題 Pathway of the Association Between Child Poverty and Low Self-Esteem: Results From a Population-Based Study of Adolescents in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 937
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2019.00937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita Ayako, Matsuyama Yusuke, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo	4. 巻 9
2. 論文標題 Association between grandparent co-residence, socioeconomic status and dental caries among early school-aged children in Japan: A population-based prospective study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 11345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-47730-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita Ayako, Ochi Manami, Isumi Aya, Fujiwara Takeo	4. 巻 14
2. 論文標題 Association between grandparent coresidence and weight change among first grade Japanese children	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatric Obesity	6. 最初と最後の頁 e12524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ijpo.12524	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tani Yukako, Fujiwara Takeo, Doi Satomi, Isumi Aya	4. 巻 11
2. 論文標題 Home Cooking and Child Obesity in Japan: Results from the A-CHILD Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nutrients	6. 最初と最後の頁 2859 ~ 2859
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/nu11122859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nawa Nobutoshi, Fujiwara Takeo	4. 巻 37
2. 論文標題 Association between social capital and second dose of measles vaccination in Japan: Results from the A-CHILD study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Vaccine	6. 最初と最後の頁 877 ~ 881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.vaccine.2018.12.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi Satomi, Fujiwara Takeo, Isumi Aya, Ochi Manami, Kato Tsuguhiko	4. 巻 9
2. 論文標題 Relationship Between Leaving Children at Home Alone and Their Mental Health: Results From the A-CHILD Study in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2018.00192	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tani Yukako, Fujiwara Takeo, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Does Eating Vegetables at Start of Meal Prevent Childhood Overweight in Japan? A-CHILD Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2018.00134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kachi Yuko, Fujiwara Takeo, Yamaoka Yui, Kato Tsuguhiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Parental Socioeconomic Status and Weight Faltering in Infants in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2018.00127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi Satomi, Fujiwara Takeo, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko	4. 巻 45
2. 論文標題 Association of sleep habits with behavior problems and resilience of 6-?to 7-year-old children: results from the A-CHILD study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 62~68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sleep.2017.12.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kizuki Masashi, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko, Fujiwara Takeo	4. 巻 6
2. 論文標題 Parental Time of Returning Home From Work and Child Mental Health Among First-Year Primary School Students in Japan: Result From A-CHILD Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2018.00179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama Yusuke, Fujiwara Takeo, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Self-control and dental caries among elementary school children in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Community Dentistry and Oral Epidemiology	6. 最初と最後の頁 465 ~ 471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cdoe.12387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isumi Aya, Fujiwara Takeo, Nawa Nobutoshi, Ochi Manami, Kato Tsuguhiko	4. 巻 83
2. 論文標題 Mediating effects of parental psychological distress and individual-level social capital on the association between child poverty and maltreatment in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Child Abuse & Neglect	6. 最初と最後の頁 142 ~ 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chiabu.2018.07.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama Yusuke, Fujiwara Takeo, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko	4. 巻 46
2. 論文標題 Self-control and dental caries among elementary school children in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Community Dentistry and Oral Epidemiology	6. 最初と最後の頁 465 ~ 471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cdoe.12387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tani Yukako, Fujiwara Takeo, Ochi Manami, Isumi Aya, Kato Tsuguhiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Does Eating Vegetables at Start of Meal Prevent Childhood Overweight in Japan? A-CHILD Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pediatrics	6. 最初と最後の頁 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fped.2018.00134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi Satomi, Fujiwara Takeo, Isumi Aya, Ochi Manami, Kato Tsuguhiko	4. 巻 9
2. 論文標題 Relationship Between Leaving Children at Home Alone and Their Mental Health: Results From the A-CHILD Study in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2018.00192	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doi S, Fujiwara T*, Ochi M, Isumi A, Kato T	4. 巻 45
2. 論文標題 Association of sleep habits with behavior problems and resilience of 6- to 7-year-old children: Results from the A-CHILD study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 62-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sleep.2017.12.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計32件(うち招待講演 2件/うち国際学会 12件)

1. 発表者名 舟越優、伊角彩、土井理美、越智真奈美、藤原武男
2. 発表標題 地域レベル、個人レベルでのソーシャル・キャピタルと子どもの問題行動との関連:A-CHILD Study
3. 学会等名 第30回日本疫学会学術総
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 福屋 吉史、伊角 彩、 越智 真奈美、土井 理美、森田 彩子、 藤原 武男
2. 発表標題 小学校2年時の登校しぶりと小学校1年時の生活習慣との関連についてA-CHILD縦断研究
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮村慧太郎、伊角彩、土井理美、越智真奈美、那波伸敏、藤原武男
2. 発表標題 思春期における朝食欠食と境界型糖尿病リスクの関連
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小山佑奈、藤原武男、伊角彩、土井理美
2. 発表標題 子ども手当は子供の疾病予防に効果的か？
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Funakoshi Yu, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo
2. 発表標題 The association of social capital with behavior problems among children in Japan
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Matsuyama Yusuke, Isumi Aya, Doi Satomi, Fujiwara Takeo
2. 発表標題 Poor Parenting Types and Dental Caries of 6 year-old children
3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ito Kanade, Isumi Aya, Doi Satomi, Ochi Manami, Fujiwara Takeo
2. 発表標題 The association between eating vegetables at start of meal and dental caries among Japanese children
3. 学会等名 12th European Public Health Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉池 信男、藤原 武男、矢野 亮佑
2. 発表標題 国内の健康格差から国際保健を考える
3. 学会等名 日本国際保健医療学会 第34回 東日本地方会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 新杉知沙、藤原武男、黒谷佳代、越智真奈美、谷友香子、瀧本秀美
2. 発表標題 就学前児童の発育と食事の質の変化の関連：足立区縦断調査
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松山祐輔、藤原武男、越智真奈美、伊角彩、加藤承彦
2. 発表標題 足立区小学1年生における自己統制力とう蝕の関連
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梅森幸、土井理美、伊角彩、礪波健一、新田浩、荒木孝二、藤原武男
2. 発表標題 受動喫煙と子どものむし歯との関連：A-CHILD調査
3. 学会等名 第29回日本疫学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荒木 美祐、保田 裕子、小川 卓也、姜 順花、山縣 然太郎、藤原 武男、森山 啓司
2. 発表標題 日本の思春期児童における不正咬合と口腔関連QoLとの関連について
3. 学会等名 第77回日本矯正歯科学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原武男
2. 発表標題 ライフコースと健康
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上裕子、伊角彩、土井理美、越智真奈美、藤原武男
2. 発表標題 小中学生の保護者はなぜ子どものう蝕を放置するのか？関連要因の探索研究：A-CHILD研究
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場優子、黒川真美、長友亘、谷友香子、越智真奈美、土井理美、伊角彩、藤原武男
2. 発表標題 あだちベジタベライフその2 保育園児の世帯生活状況による生活習慣定着状況の差
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福屋吉史、伊角彩、越智真奈美、土井理美、森田彩子、木津喜雅、藤原武男
2. 発表標題 小学校2年児の投稿しぶりと家庭内のリスク要因：A-CHILD縦断研究
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原武男
2. 発表標題 子どもの自己肯定感を決めるものは何か：足立区における実態調査（A-CHILD Study）
3. 学会等名 第59回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aya Isumi, Takeo Fujiwara, Hiroataka Kato, Taishi Tsuji, Daisuke Takagi, Naoki Kondo, Katsunori Kondo
2. 発表標題 Additional medical costs of Japanese older people with childhood maltreatment history: A life-course approach
3. 学会等名 ISPCAN XXII International Congress on Child Abuse and Neglect (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nawa N, Isumi A, Fujiwara T
2. 発表標題 Neighborhood social capital, parental depression, and physical abuse toward children: multilevel mediation analyses
3. 学会等名 ISPCAN XXII International Congress on Child Abuse and Neglect (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Doi S, Fujiwara T, Ochi M, Isumi A, Kato T
2. 発表標題 Relationships between sleep habits and mental health among Japanese 6 to 7-year-old children: Results from the A-CHILD study
3. 学会等名 The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松山祐輔
2. 発表標題 良好的口腔状態は健康寿命を延ばすか Illness-deathmodelを応用した縦断研究
3. 学会等名 医療と社会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原武男
2. 発表標題 子どもの健康を守る社会環境とは
3. 学会等名 第67回東北公衆衛生学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤原武男
2. 発表標題 子どもの貧困と健康：政策介入の可能性
3. 学会等名 第59回日本社会医学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeo Fujiwara
2. 発表標題 CHILDHOOD POVERTY, PARENTING, AND CARIES: A MEDIATION ANALYSIS
3. 学会等名 European Congress of Epidemiology 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeo Fujiwara
2. 発表標題 ASSOCIATION BETWEEN CHILDHOOD SUICIDAL IDEATION AND GERIATRIC DEPRESSION: A LIFE-COURSE APPROACH
3. 学会等名 European Congress of Epidemiology 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ayako Morita, Takeo Fujiwara
2. 発表標題 Risk for late-life depression associated with childhood suicidal ideation
3. 学会等名 European Congress of Epidemiology 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeo Fujiwara
2. 発表標題 school social capital and child mental health
3. 学会等名 10th ISSC Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takeo Fujiwara
2. 発表標題 Environmental risk factors on autism spectrum disorder: perspective from social epidemiology
3. 学会等名 International Symposium on Autism 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 土井理美、藤原武男、越智真奈美、伊角彩、加藤承彦
2. 発表標題 子どもの睡眠とメンタルヘルスの関連性：A-CHILD 調査
3. 学会等名 第23回日本行動医学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三瓶 舞紀子
2. 発表標題 The impact of leaving children home alone on children's dental caries
3. 学会等名 第27回日本疫学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeo Fujiwara, Naoki Kondo, Peter Ueda
2. 発表標題 Global financial crisis and childhood obesity trajectory by household income: national representative longitudinal study in japan
3. 学会等名 2016 Epidemiology Congress of the Americas (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Natsuyo Yanagi, Takeo Fujiwara, Akira hata, Katsunori Kondo
2. 発表標題 Association between childhood socioeconomic status and vegetable/fruit consumption by age group in elderly Japanese: JAGES Project
3. 学会等名 2016 Epidemiology Congress of the Americas (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 藤原 武男	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社潮出版	5. 総ページ数 143
3. 書名 医学からみた「幸福は人に伝わる」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>国際健康推進医学分野 研究実績 https://tmduglobalhealthpromotion.com/publication/</p> <p>国際健康推進医学分野 ニュース（研究発表・メディア掲載等） https://tmduglobalhealthpromotion.com/category/research/</p> <p>国際健康推進医学分野 研究プロジェクト https://tmduglobalhealthpromotion.com/project/</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------